

県立奈良高校(奈良市)は2023年11月1日、創立100年を迎えた。創立100周年記念のテーマ標語は、「百の歴史 百の個性」。本特集では、県内屈指の進学校である同校100年の歴史と多彩な人材を輩出し続ける同校の「自主創造」の建学の精神をたどる。

奈良高等学校 創立100周年



新「堅義(りゅうぎ)の庭」完成イメージ



「自主創造」の精神

1924(大正13)年に奈良市法蓮町内で「県立奈良中学校(旧制中学校)」を前身として創設。48(昭和23)年に県立奈良高校(男子校)、県立奈良商工高校、奈良市立高校の3校が統合され総合制の「県立奈良高等学校」が発足された。

「自主創造」の校風のもと、卒業生は3万9千人を超え、国内外を問わずさまざまな分野で活躍する人材を輩出してきた。

2度の校舎移転

同校は100年間に2度の校舎移転という極めて稀有な経験をしており、卒業年次により思いの校舎が異なる。

最初は67(昭和42)年、高度経済成長期による生徒数急増と校舎の老朽化への対応として旧法蓮校舎(現・ホテルリガール春日野)から法蓮校舎へ移転した。2度目は2022年4月、県立高校の適正化に伴い、慣れ親しんだ法蓮校舎を閉じ、閉校となった県立平城高校(同市朱雀2丁目)の校地に移転した。

新「堅義(りゅうぎ)の庭」

世代によって思い描く母校の校舎は違うが、奈高生に脈々と流れるのは「自主創造」の精神だ。法蓮校舎にあった「堅義(りゅうぎ)の庭」[アテネの学堂]は、1度目の移転の際にこれまでに培われてきた校風を伝承したいと創立50周年記念事業の一環として建立された。

そして、2度目の移転を経験し創立100周年を迎えた同校は、奈高であり続ける象徴として「新・堅義の庭(仮称)」を整備している。未来を担う生徒に新たな「百の歴史」を進めてほしいという願いを込めた。完成は来春を予定。

「百の歴史 百の個性」

「100年の歴史と同じくらい多くの個性を大切にしてきた奈高生の伝統と100年先も輝く奈高であってほしいという想いを表した」と話すのは創立100周年記念テーマ標語の作者である田中明璃さん(2022年度卒業)。コロナ禍や校舎移転を経験する中、生徒会に所属し文化祭や体育祭の運営に携わった。「校風の『自由』には責任も伴うが、その中で一人ひとりが個性を発揮することが大切」と語った。

100 奈良高校の沿革

- 1924.2.13 文部大臣より、奈良県立奈良中学校設置の件が認可される。
- 1924.4.9 奈良県立図書館において授業を開始する。
- 1928.11.1 旧法蓮校舎落成式挙行、この日を学校創立記念日とする。
- 1948.4.1 奈良県立奈良中学校を奈良県立奈良高等学校に転換し、併設中学校を置く。
- 1969.6.10 新法蓮校舎落成記念式典を挙行する。
- 1995.4.1 平成7年度入学生から学年の区分によらない教育課程を実施する。
- 2004.4.1 文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受ける。
- 2013.11.3 創立90周年記念式典を挙行する。
- 2017.4.1 文部科学省よりSSH(第4期)の継続指定を受ける。
- 2022.4.1 奈良市朱雀2丁目11番地へ移転する。
- 2022.4.1 奈良県教育委員会は、奈良高校に地域連携センター「平城山」を設置する。
- 2023.4.1 文部科学省よりSSH(認定枠)の指定を受ける。
- 2023.11.2 創立100周年記念講演会を開催する。
- 2023.11.13 創立100周年記念鑑賞会を開催する。
- 2024.4 創立100周年記念中庭整備事業「新・堅義の庭(仮称)」完成予定。



課題と向き合う教育を

奈良高校には「自由」「自立」の環境があり、それぞれが自由に勉学に励み、部活動では挫折も教訓とし努力することを学びました。最初の校舎移転で「自主創造」の象徴と言える講堂はなくなったものの、その校風は今日まで息づいていると感じます。



潮川 雅数氏
理事長会長
創立100周年記念事業
実行委員会委員長

創立100周年記念事業の中核である中庭事業では、生徒同士が交流できる場として整備を進めており、高校生活を有意義に過ごしてほしいという想いを込めています。

在校生には、心身ともに健やかに育ち、自分が置かれた立場の中で努力することを期待します。答えなき課題に取り組む人材になることを願っています。

勉強が人間性を高める

記念すべき100周年に立ち会えることにご縁を感じ、微力ながらお役に立ちたいと思います。



吉信 秀樹氏
育友会会長
創立100周年記念事業
実行委員会副委員長

創立100周年記念事業の中核である加藤雅也さんの講演会と葵トリオさんの鑑賞会が終了しましたが、学業に励むことが人間性を高めることにつながるとあらためて実感しました。高校生にとって人生のきっかけとなり得る素晴らしいイベントだったと思います。

また、今年の青丹祭の最後の花火では奈良高、平城高の互いの校歌を歌うなど素晴らしい時間を過ごされたいと感じました。今後も奈良高校の伝統を守り継ぎ、いつまでも仲間とつながってほしいと願っています。

自主創造の精神を継承

奈良高校には「自主創造」の精神が息づき、生徒はリベラルで文化的な雰囲気を持ち、卒業後も各界で燦然と輝く活躍を見せています。



前田 景子氏
奈良県立奈良高等学校校長
創立100周年記念事業
実行委員会副委員長

創立100周年記念事業の中核である講演会、鑑賞会では、地元奈良を大切にグローバルに活躍する卒業生の方々に花を添えていただき、感謝しております。また、校舎移転や経験のないコロナ禍を経て、生徒たちからは無から有を創り出す奈高生に受け継がれてきた精神を感じています。

今後も地域からも愛される「奈高」へ育てていくとともに、次の100年に向けて先輩方が創り上げてきた「自主創造」の精神をさらに高め、発展に努めてまいります。

奈高の良さ伝える使命

生徒会長として100周年の節目に立ち会うことに責任を感じる一方、奈良高校は私にとって青春の場です。文化祭、体育大会などの行事をいかに盛り上げ、楽しかせるかが生徒会の役割と考えています。



伊佐地 悠希さん
奈良県立奈良高等学校 2年生
生徒会長

また、校舎移転を経て平城高校と地域が共に歩んできた歴史を継承し、互いの良さを融合することが奈良高校としての使命だと思います。そのためにも地域との交流を深め、「奈高」の良さを知ってもらえればうれしいです。

一つの目標に向かい、仲間と共に頑張るのが気分です。在校生、そして未来の奈高生の皆さんには、今しかない青春を謳歌してほしいです。

創立100周年事業のための募金をお願いしています。

現在、目標額の22%です。皆さまのご支援が必要です。

募金目標金額/1億円
個人1口1万円
なるべく2口以上のご協力をお願いいたします

<p>特定寄附 中庭整備に充た【税制上の優遇措置あり】</p> <p>①郵便局(ゆうちょ銀行) 口座記号番号: 00900-0-239717 口座名: 奈良高校創立100周年記念事業実行委員会</p> <p>②南都銀行 普通預金口座: 2537966 本店営業部(店番010) 口座名: 奈良県立奈良高等学校創立100周年記念事業実行委員会 委員長 潮川雅数</p>	<p>一般寄附 記念誌の作成、記念式典等の開催、募金経費に充た</p> <p>①郵便局(ゆうちょ銀行) 口座記号番号: 00950-2-198568 口座名: 奈良高校創立100周年記念事業実行委員会</p> <p>②南都銀行 普通預金口座: 2537982 本店営業部(店番010) 口座名: 奈良県立奈良高等学校創立100周年記念事業実行委員会 委員長 潮川雅数</p>	<p>募金趣意書の郵送サービス</p> <p>趣意書及び振込用紙をご希望の方はこちらまで。</p>	<p>思い出のスナップ写真掲載中!!</p> <p>在校生への応援メッセージ 卒業生からのビデオレターも公開しています</p> <p>◆俳優 加藤 雅也さん(昭和57年卒) ◆葵トリオ 伊東 裕さん(平成23年卒) ◆笑い飯 哲 夫さん(平成5年卒)</p>
--	--	--	---